

諏訪市長

金子ゆかり様

政策提言書

諏訪市の更なる観光振興に対する提言

—冬季の観光客の呼び込み—

令和3年1月22日

諏訪市議会 総務産業委員会

はじめに

新型コロナウイルスの世界的感染拡大は、収束するどころか未だ拡大し続けています。この新型コロナウイルス騒動は、地球規模の人の移動を遮断し日本経済・地域経済にも大きな影響をもたらしています。諏訪市の経済も例外ではなく基幹産業ともいえる観光業に大きな負の影響が出ています。

総務産業委員会ではウィズコロナ、アフターコロナに向け、いち早く地域経済を立て直すため幅広い産業に波及効果を与えること及び今後の成長の可能性に期待し、観光振興について政策提言をすることが良いとの結論に至り、調査研究をいたしました。

コロナ禍において座して待つのではなく、この時期だからこそ諏訪の観光資源の見直しや磨き上げに努め、アフターコロナに備えピンチをチャンスに変える政策・施策が必要です。

このような背景のもと、当委員会は以下のように政策提言いたします。

【諏訪市の観光の特徴】

諏訪湖、温泉、霧ヶ峰、歴史遺産など多くの観光資源を有し、全国的に知名度も高い。

- ・「令和元年日本の温泉 100 選」では、見所・体験の充実（37 位）を理由に 77 位。
- ・「令和元年主要観光地延利用者数上位 50 位（R2 県観光部山岳高原観光課資料）」では、上諏訪温泉・諏訪湖：3 位、霧ヶ峰高原：6 位、諏訪大社：16 位（御柱年 9 位）。

【諏訪市の観光の現状】

(1) 知名度は高いが、観光客数・消費額とも伸び悩んでいる。

- ・観光客数（H16 年を 100 とした場合の R1 年の状況）

上諏訪温泉・諏訪湖：91.2、霧ヶ峰高原：69.1、諏訪大社：60.1

(2) 県外客（75.7%）が多いが宿泊（22.1%）は少なく、しかも短期宿泊（平均 1.14 泊）。

観光客単価/1 人：宿泊 11,182 円、日帰り 2,051 円

(3) 利用月に季節格差が大きい。

上諏訪温泉・諏訪湖：8 月 99.6 万人、3 月 15.5 万人

霧ヶ峰高原：7 月 58.8 万人、3 月 0.98 万人

（R2 県観光部山岳高原観光課観光地利用者統計調査より）

【諏訪市の観光が抱える課題】

- ・国内有数の観光資源を有しているが、活用が不十分であり魅力を出し切れていない。
 - ⇒ストーリー性などコンテンツの磨き上げが不十分
 - ⇒それぞれが単独で存在し、有機的な結びつきや連携が取れていない。
- ・日帰り客が多く、長期宿泊滞在型・リピート客に結びつかない。
- ・冬の観光資源の活用が不十分であり、冬季の観光客が他シーズンと比べ著しく少ない。

【提 言】

上記課題を解決するため、特に冬季の観光資源に注目し、冬の滞在型観光客誘致、リピート客拡大を目指し、以下を提言する。

- 冬季観光客を誘致するための観光コンテンツの磨き上げ、ストーリー性の追求に対する市の積極的な関与、更なる補助制度の創設
- 諏訪市でしか味わえない「冬のおもてなし」の提供に対する環境整備の促進
- 冬の諏訪観光のアピールとふるさと納税の返礼品に組み入れるなど情報発信の強化
- 諏訪圏観光資源のグレードアップのため、諏訪市のリーダーシップによる周辺市町村、各観光協会や団体などとの連携サポートの推進。

上記提言の具現化に向けてのテーマ、施策について、当委員会で検討したアイデアを以下に提案する。市での採用の可否、関係各部門団体との連携協力の可否、観光資源の面的活用などを検討され、施策に結び付けていただくことを期待する。

1. 観光コンテンツの磨き上げ、ストーリー性の追求

(1) 神の恋路、御神渡り神事を中心とした神秘の諏訪湖

① 御神渡り関連

- ・ 上社、下社、御神渡り神事の八劔神社などのガイド付きツアー
- ・ 諏訪湖凍結、御神渡り発生などの宿泊券・割引券付き予想
⇒ 明けの海（御神渡り無し）の場合、翌年度の宿泊・ツアー割引など
- ・ 八劔神社の御神渡り観察の早朝見学および湖周周遊など

② 冬の諏訪湖魅力発見

- ・ 冬の花火大会
- ・ 温泉発電を使ったイルミネーション展示規模拡張+温泉観光施設ライトアップ
- ・ ワカサギ釣りや冬の諏訪の味覚（寒天、凍豆腐、五蔵見学含む）ツアー（宿泊付）
- ・ ナイトクルーズ・ダックツアーで花火・イルミネーション・ライトアップ見学
- ・ 渡り鳥観察（説明宿泊付）

(2) 温泉組合数日本第2位の冬の上諏訪温泉巡り

① 片倉館や開放可能な地元温泉組合の共同浴場巡り

- ・平温泉などの意向を確認し賛同していただける温泉組合募集
- ・スタンプ付温泉巡りツアー（複数日可とし宿泊付）

(3)縄文人も過ごした冬の霧ヶ峰

①雪の高原満喫ツアー

- ・グランピング並みのベース基地を設け、スノーシューおよびネイチャースキー（歩くスキー）でのガイド付きトレッキング

②強清水スキー場のファミリー対応のグレードアップなど

2. 「冬のおもてなし」の提供に対する環境整備

(1)高齢者や障がいを持っている方に優しく、楽しく観光ができる「ユニバーサルツーリズムのまち 諏訪」の推進、アピール

- ①各観光スポットを巡るバスや乗り合いタクシーなどの2次交通の拡充整備
- ②車いす、歩行補助車や杖使用の高齢者が容易に通行できる歩道整備、除雪、融雪
- ③公衆トイレの整備美化、温泉暖房付き多機能トイレの設置

(2)湯気の立つまちの実現に向けた温泉が出るモニュメントの修理・設置

(3)温泉を活用した観光施設の手洗い場（トイレ含む）

(4)受動喫煙防止条例に伴う分離独立した喫煙所の整備

3. 「高原湖畔都市 すわ」をアピールする情報発信の強化

(1)ふるさと納税制度の返礼品の充実

- ・1.で提案した内容を体験型返礼品とし市の増収を図るとともに観光情報として発信。

(2)テレビ、雑誌、ネットなどのマスメディアへの情報提供・連携

- ・寺社仏閣、美術館・博物館、食文化、歴史など
- ・すわの豆知識

国内初のフィギュアスケート大会、国内初のスキー大会開催地など

以上